

Rotary



2022-2023 年度 国際ロータリー第 2670 地区
高松グリーンロータリークラブ

発行日
2022 年 7 月 7 日

2022-2023 年度
国際ロータリーのテーマ

NO.
1340



WEEKLY REPORT

- 例会場:ホテルマリンパレスさぬき
- 例会日:毎週木曜日 PM6:30 より
- 事務所:高松ホテル旅館料理協同組合
高松市西の丸町 10-15 TEL851-2661
- URL:<http://tgrc.jp>
会長:平田 真由美 幹事:太田 貴道

- 今週プログラム ● 7 月 07 日 (1340 回)
クラブ協議会 会長幹事各理事 就任挨拶 友翠会
- 次週プログラム ● 7 月 14 日 (1341 回)
クラブ協議会 SAA 各委員長 委員会活動計画発表
入会式 澤田唯行 氏
- 先週プログラム ● 6 月 30 日 (1339 回)
クラブ協議会 理事 役員 離任挨拶

第 1340 回 例会報告 7 月 7 日

我がクラブの強みを考え、何ができるか想像し、そして次につなごう

□ プログラム委員会より

◀ 7 月度例会 スケジュール ▶

- * 7/07 1340 回 クラブ協議会 会長幹事各理事 就任挨拶 友翠会
- * 7/14 1341 回 クラブ協議会 SAA 各委員長 委員会活動計画発表
入会式 澤田唯行 氏
- * 7/21 1342 回 卓話 佐藤直前会長 理事会
- * 7/28 1343 回 客話 四季ネットワーク協同組合
「外国人技能実習制度」の実態と支援機関の本来の業務

□ 幹事報告

・なし

□ 7/5 現在 メイクアップ

- ・ 6/28 高松東 RC 高嶋(由)・十河・石井
八田・塩田・高嶋(浩)
- ・ 6/30 高松東 RC 横井
- ・ 6/30 観音寺 RC 高嶋(浩)

□ 6/30 出席報告

- 会員数 : 37 名 ●出席基準数 : 34 名
- 出席者数 : 28 名 ●欠席者数 : 6 名
- 出席率 : 82.35% ●ビジター : 0 名
- 06 月 16 日 最終出席率 81.25% → 87.50%
- 最終欠席者名 : 早川・箕・白井

□ 休会

- 7 月 18 日 (月) 東かがわ RC ○7 月 19 日 (火) 高松中央 RC
- 8 月 09 日 (火) 丸亀 RC ○8 月 16 日 (火) 観音寺東 RC

□ ニコニコ

- ・一年間ありがとうございました。/難波
- ・一年間ありがとうございました。/平田
- ・佐藤会長、難波幹事一年間有難うございました。/真鍋
- ・佐藤会長、難波幹事一年間有難うございました。/高嶋(浩)
- ・一年間ありがとうございました。/佐藤
- ・佐藤会長、難波幹事ありがとうございました。/藤本
- ・佐藤会長、難波幹事ありがとうございました。/太田
- ・一年間ありがとうございました。/石橋

□ 会長挨拶

一年間 よろしくお願ひします。 平田真由美



離任挨拶

□ 例会臨時変更

- 丸亀東 RC は、
 日時：7月19日（火）午後7時～ 一鶴土器川店
 日時：7月26日（火）午前11時50分集合 丸亀市役所、マルタス
 日時：8月16日（火）午後7時～ オークラホテル丸亀1F

- 高松 RC は、日時：7月21日（木）
 場所：アーベルアンジュ高松 TEL 087-811-2801
 「クラブ創立記念例会及び家族会」

- 観音寺東 RC は、7月12日 18時30分 観音寺グランドホテル
 8月23日 18時30分 観音寺グランドホテル



7/3(日) 93会ゴルフ 坂出 CC

◀ コラム ▶

7月7日は七夕、由来・意味をご存じでしょうか。

七夕伝説

昔々、天の川には天帝という神様がいました。この天帝には美しい布を織る織姫という娘がいました。あるとき牛飼いの男・彦星と出会い恋に落ちました。恋人同士になった二人は仕事をしなくなりました。これに怒った天帝は二人を天の川の両側に引き離し、1年に1度しか会えないようにしました。二人が会える日が七夕となりました。

日本には古くから棚機（たなばた）と呼ばれる神事がありました。

乙女が着物を織って棚に供えて神様を持って成し、秋の豊作や人びとの罪穢れを祓う行事です。この乙女は棚機女（たなばたつめ）と呼ばれます。

棚機女は清らかな川の側に小屋を建て、棚機（たなばた）と呼ばれる織機を用います。

現在「七夕」を「たなばた」と読むのはここから来ています。

小さいころ誰もが夢中になった七夕は古い伝説と神事、そして人々の願いが込められた行事になりました。ちなみに笹や竹が使われるのは、笹や竹が生命力にあふれた植物であることに由来しているようです。

「七夕」と書く理由は古く中国、宮中では7月7日の夕方に行っていた行事であること

「たなばた」と読む理由は、日本の伝統神事・棚機（たなばた）の読み方をあてていること

日本の伝統行事を大切に残していきましょう。